

主婦のくらし

— 生計費モニター通信 —

NO.158

2009年4月1日発行

今回寄せられたモニターのみなさんの声を見ると、ちょうど年度替りで子どもさんの入学、進学などにお金がかかっている様子がうかがえます。そして、そうした出費に加えて、折からの不況で収入も減少しており、働きに出たい、パートに出ることになった、といった声も目立ちました。

データの平均値だけでは昨年に比べて厳しさが増しているということはわかりかねますが、声を見ると、個々くらしが大変厳しくなっているのがわかります。

そこで、ご存知の方も多いと思いますが、パートで勤める場合の税金と社会保険の負担の具合は次のようになっています。ご参考までに。なお、便宜的に夫が主たる収入を得ており、妻がパートで働いた場合とします。

妻の収入と税金・社会保険料

妻の年収	100万円		103万円		130万円		141万円	
	以下	超	以下	超	未満	以上	未満	以上
夫の所得税	配偶者控除が受けられる (38万円)			配偶者特別控除が受けられる (3~38万円)			どちらも受けられない	
妻の住民税	負担なし		住民税を自分で払う					
妻の所得税	負担なし			所得税を自分で払う				
妻の社会保険料	負担なし				社会保険料を自分で払う			

なお、世帯収入への影響が大きいのは130万円のところです。年収が130万円以上になると、妻は夫の扶養から外れて、自分で社会保険の保険料を払うこととなりますが、そのことによって130万円~160万円くらいまでは、130円未満のときより手取り収入が減る逆転現象が起こります。気をつけましょう。

2 がつ の データ (2009年2月分)

世帯の状況

		2008年 2月	2009年 1月	2009年 2月
調査対象数(世帯)		192	225	225
世帯主年齢(歳)		45.2	44.8	45.1
平均家族数(人)		3.8	3.8	3.8
世帯主 職種	公務員	13.0	13.8	14.7
	会社員	71.4	70.7	71.6
	自営業等	6.8	7.6	6.7
	無職	8.9	8.0	7.1
世帯主 年齢	20~29歳	1.0	1.3	1.3
	30~39歳	31.3	34.7	31.1
	40~49歳	39.6	39.1	41.8
	50~59歳	16.7	13.3	15.1
	60歳以上	11.5	11.6	10.7

実支出

	2008年 2月	2009年 1月	2009年 2月
合計	433,905	464,867	444,306
消費支出	317,572	340,818	312,850
食費	53,748	57,421	54,130
住居費(家賃・ローン)	44,606	49,132	48,154
住居費(その他)	11,981	21,696	15,643
水・光熱費	21,455	23,077	21,782
被服費	15,218	15,432	11,724
保健医療費	8,291	9,580	7,643
美容衛生費	8,300	7,992	7,238
交際費	21,257	27,647	17,120
交通費	5,001	4,674	3,830
通信費	14,894	14,589	16,352
教育費	37,972	40,192	41,840
教養娯楽費	13,778	15,772	13,182
職業費・こづかい	28,218	29,055	27,336
自動車関係費	22,329	20,678	22,192
その他	10,523	3,881	4,685
非消費支出	116,332	124,049	131,456
税金	21,719	17,448	24,233
社会保険料	43,913	48,082	47,123
私的保険料	44,295	51,460	53,418
その他非消費支出	6,406	7,059	6,682

実収入

合計	458,037	468,499	476,745
給料(夫)	301,752	307,558	306,901
(妻)	35,039	38,166	41,064
賞与(夫)	0	32,375	0
(妻)	0	2,742	0
公的年金(夫)	25,752	2,396	25,960
(妻)	14,785	0	12,107
自家営業	16,649	17,102	16,464
家賃・地代収入	5,810	5,387	6,498
パート・アルバイト収入(夫)	391	372	1,441
(妻)	22,318	23,492	25,962
同居家族からの収入	5,232	2,794	2,623
私的年金(夫)	7,598	1,173	4,177
(妻)	843	1,821	4,184
その他の収入	21,868	33,119	29,364

別掲

積立・定期預貯金	25,322	50,340	29,730
----------	--------	--------	--------

再掲

住宅ローン返済額	31,898	36,211	36,626
住宅以外借入金返済	3,084	5,130	4,142

特別収入

保険満期金	1,138,100
-------	-----------

特別支出

葬儀費用	2,687,669
法要費用 2件	3,199,037
終身保険一時払い	1,010,442

2月のおたよりから

★夫は現在の会社に勤続10年余り。最初の頃は毎年5千円の昇給だったが、年々額が減り今年は1,500円。子ども達も大きくなってお金のいることばかりで正直厳しい。しかし、リストラや派遣切りなどと不況のこの世の中、働かせてもらえるところがあるだけでも感謝しなければと自分に言い聞かせています。そして、何一つとしてグチや「疲れた」などの文句も言わず毎日車で1時間近くかけて通勤している夫にも感謝感謝です。(32歳)

★我が家は毎月水光熱費が高いです。節水のシャワーヘッドや選択の風呂水利用、夕食のまとめ作りでガスを何度も使わない…など、私なりに工夫しています。が、夫の協力があまりありません。「よそと比べても仕方がない」とか「自分なりに節約している」と言います。節約嫌いな家庭で育てしまった夫を協力させる手段はないのでしょうか?(35歳)

★教育費の今月の増加分は小学生3人を春休みに「海外青年派遣事業、ヨロン島でキャンプ」に約1週間、申し込んだからです。痛い出費ですが、これからの世の中、経済状態も不安定、お金を持っていることが安心ではありません。未来を担う子どもたちが生きていく力を身に付けるために先行投資したほうがよっぽど有益だと考えたからです。どんなに貧乏でも体験を通して身に付けた知恵、勇気、希望、仲間は彼らを支えてくれると信じています。貴重な春休みになり、成長して帰ってくる子どもたちの

姿が楽しみです。(39歳)

★生命保険の年払い、住宅ローンのボーナス分、子どもの大学進学のための新居に対する払込金など、ビックリするほどの支出になっていて家計簿をつけていて良かったと思いました。職場で、〇〇費がいくらだったと世代の違う仲間と数字を言いながら反省したり、励まされ、とても苦手だった、今まで何度トライしても続かなかった記入がきっちり2ヶ月も完璧にできたことが、とてもうれしいです。まずは現実を直視して分析していきたいと思います。なんとなく、レコーディングダイエットですよね。(52歳)

★今月は娘の小学校入学で本当に出費の嵐! 出資金を崩して、お祝い金などで何とか間に合いそうだけど…。聞いてはいたものの実際購入していると、本当に1万円札があっという間に消えていく感じ。来月もまだ未購入のものがあるので、覚悟しておかないと…。(35歳)

★不況の中、私も働くべきか、このごろ考え中。でも4月から上の子は小学生、下の子が幼稚園に入学する予定で何かとバタバタ忙しそうだし、環境が変わって精神的に落ち着くまでは節約してしのいでいったほうが良さそう。その中で炊飯器がこわれて痛い出費。でも毎日使うものだし、ごはんはおいしく食べたいから少しいいものにしました。(35歳)

★家計簿をつけ始めて、赤字続きの我が家の財政に「もっと、節約しなくちゃ！」といつも思います。今年度は、夫の収入減がひびいています。それと交際費や電化製品の買い替えと、車検3台分と出費の多い年でした。そろそろ来年はテレビがヤバイ…。春からは心機一転して、生活と身体のダイエット開始します。(42歳)

★少しずつ貯めていた出資金を足して、今年も北海道スキーに行きました。去年は結婚20周年企画でしたが、今年は高校、小学校の卒業祝いを兼ねての家族旅行となりました。5人家族共通の趣味を持ったおかげで晴天の山頂から洞爺湖や羊蹄山を望む大パノラマを見ることができ、大変幸せです。さあ、また仕事頑張るぞ！(43歳)

★残業はなくなり、給料は下がり、収入は減る一方なのに、税金は上がっている。なんで???毎月、家計簿の赤字を見ると悲しい。私も来月からパートを始めます。少しでも赤字分を埋めなくてはなりません。ファイト!!(50歳)

★父の葬儀と子どもの進学準備が重なり、金銭感覚がまったくゼロ!どうしても必要なものは必要だしと割り切っていたものの、葬儀後49日法要までの出費の多さにビックリ!電気、ガス、灯油、水道代すべてアップの状態に。こんな時に母の気持ちを考えるとケチる事は出来ないなあと思ってし

まいます。来てくださる親戚の方々の接待は大変なことだどつくづく思います。(51歳)

★記帳の分類が十分に理解できなく戸惑っています。前回提出してから、寝具は被服費に分類しなければいけないこと、年金の所得税を引いた額を記入してしまった等々。反省多々あり、徐々に慣れるように頑張ります。よろしくお願ひします。(60歳)

★今月は保険料の一括支払いがあったが、残業代があったので黒字で終わることができた。食費を面倒だが費目ごとにつけてみると分かったことが1つ。菓子代が思っていた以上に多いということ。子どもと一緒に買物へ行くとどうしても買ってしまふ…。と言っても子どもだけのせいではないのだが…。4月からは子どもが幼稚園なのでその間に買物をすませ、子どもと一緒に行くことをなるべく控えようと思っている。また、自分たちの菓子代もダイエットを兼ねて減らしていこうと思う。(31歳)

★4月に長女の中学入学、次男の幼稚園入園があり、支出も多そうです。来年は長男が中学受験なのでそれに合わせて予定も多くあり、忙しくなりそうです。フルタイムで働くのも辛いんですが、子どものためにはパートに落とせません。この不景気の世の中ですから。(38歳)

編集 愛媛県生計費調査委員会
発行 えひめ勤労者生活情報センター
〒790-0066 松山市宮田町125番地
TEL 089-933-2871

愛媛県生活協同組合連合会
〒790-0952 松山市朝生田町3-1-12
TEL 089-931-5207